

令和2年度～令和7年度

## プラン策定の背景

これまで、教育委員会では平成18年度からの第1期教育改革プラン、平成23年度からの第2期教育改革プラン、さらに平成28年度からの第3期教育改革プランを定め、ふるさと久留米を愛し、ともに社会を生き抜く力の育成を目指して推進してきました。

第3期プランの「授業改善への支援」については、評価指標の達成には至らなかった項目があり、学力の保障と向上に関する課題の解決のためにさらなる取組が急務になっています。

これらのことから、第1期から第3期の教育改革プランの推進について取組の効果を検証し、充実・定着・拡大を基本方針としてさらなる振興と推進が求められます。

そこでこの度、本教育プランの名称を「久留米市教育振興プラン」とし、推進を図っていきます。

## 位置付け及び策定範囲

教育振興プランは、国の「第3期教育振興基本計画」の内容等を参酌するとともに、「新総合計画第4次基本計画」及び「教育に関する大綱」の理念及び基本方針等の実現に向けた久留米市教育施策の中期的事業プランです。教育基本法に規定された本市の教育振興基本計画として策定しており、本市の全ての市立学校における学校教育を対象としています。

## 目標と具体的に育成したい3つの力

教育振興プランの目標は、ともに未来を創る「くるめっ子」の育成です。  
具体的には、「つくる力・つなぐ力・つらぬく力」という3つの力をはぐくみます。

□「ともに未来を創る」とは、人口減少や高齢化の進展、IoTや人工知能による技術革新、グローバル化等の社会の現状や課題の中で、自ら問いをもち、だれもが感性や創造性を発揮し、周りの人々と協働しながら持続可能な社会のために価値あるものをつくりだしていくことです。

□「くるめっ子」とは、将来、久留米で暮らす、久留米の外で暮らす、いずれの場合においても、自分が育った「ふるさと久留米」への愛着と誇りをもち、将来への貢献を思っている児童生徒のことです。

## ～ともに未来を創る「くるめっ子」を目指して～



- 各教科等に関する基礎的・基本的な生きて働く知識・技能を習得する力。
- 新たに獲得した知識・技能を、既存の知識・技能と関連づけたり、組み合わせたり、社会の様々な場面で活用したりする力。

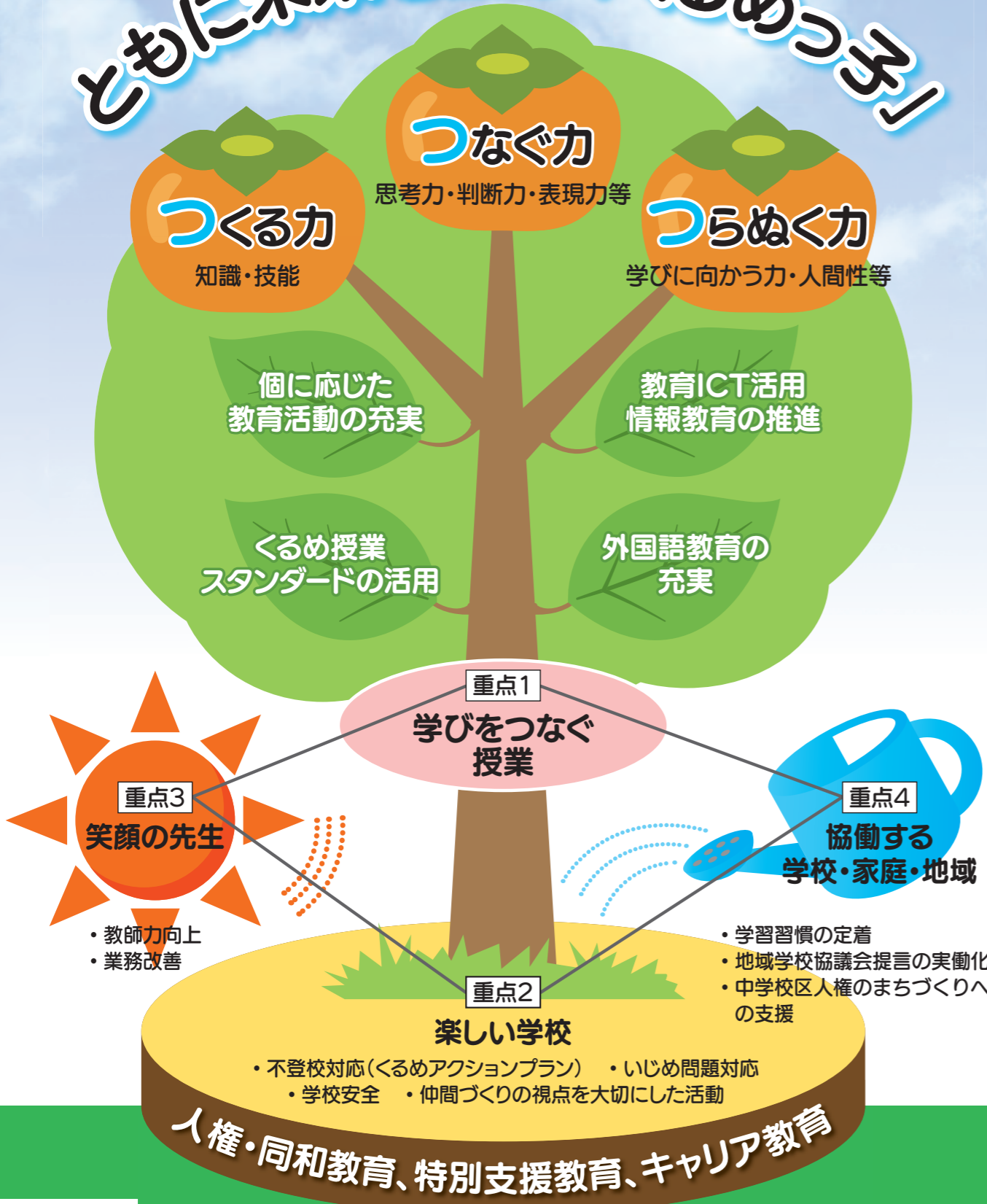


- 問題を発見し、解決の方向と方法を決定し、結果を予測しながら実行し、過程を振り返って、次の問題発見・解決につなぐ力。
- 自分をコントロールしながら、目的や場面、状況等に応じた対話を通して、考えの共通点や差異点を理解し、相手の考えに共感したり多様な考えを統合したりして、協力して問題を解決していく力。



- 夢や目標、前向きな意欲、困難を乗り越える強い意志、簡単に折れない柔軟性を持って、持続可能な社会をつくるために考え、行動しようとする力。また、それを支える心身ともに健康な体や体力。
- 自分と他者への理解を深め、規範意識や社会のルールを大切にするとともに、多様性を尊重し、互いのよさを生かしながらよりよい人間関係をつくる力。

# ともに未来を創る「くるめっ子」



- 教師力向上
- 業務改善

- 学習習慣の定着
- 地域学校協議会提言の実働化
- 中学校区人権のまちづくりへの支援

- 不登校対応(くるめアクションプラン)
- いじめ問題対応
- 学校安全
- 仲間づくりの視点を大切に活動

久留米市教育振興プラン【概要版】 令和2年3月 久留米市教育委員会  
〒830-8520福岡県久留米市城南町15-3  
[電話]0942-30-9213 [ファックス]0942-30-9719  
[E-mail] kyousou@city.kurume.fukuoka.jp [URL] http://www.city.kurume.fukuoka.jp/



## 4つの重点

第3期教育改革プランの総括を受け、効果のあった取組のさらなる「充実・定着・拡大」を基本方針として、次の4つの重点から取組を進めます。

### 重点1

#### 学びをつなぐ授業【主体的、対話的で深い学び】

授業がわかり、学ぶ楽しさを味わうことができるよう、具体的施策として、「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善、個に応じた教育活動の充実、教育ICTの活用・情報教育の推進、外国語教育の充実に取り組みます。

### 重点2

#### 楽しい学校【安全・安心な学び舎】

安全・安心な環境の中で、学校が楽しい、仲間といえるのが楽しいと感じられるよう、具体的施策として、「くるめアクションプラン」を活用した不登校・いじめ問題対応の徹底をはじめ、学校安全への支援、仲間づくりの視点を大切に活動の充実に取り組みます。

### 重点3

#### 笑顔の先生【教師力の向上と子どもと向き合う時間の確保】

教職員のキャリアステージに応じた教員研修の充実や教職員の働き方に関する意識改革と子どもと向き合う時間を確保できる環境づくりを推進します。

### 重点4

#### 協働する学校・家庭・地域【コミュニティ・スクールの推進】

全小中学校に設置している地域学校協議会を中心として、学校が抱える教育課題を解決するために、学習習慣定着への支援と地域学校協議会提言の実働化への支援に取り組みます。

また、地域コミュニティと学園コミュニティを両輪とした人権のまちづくりを一層充実させます。

## 土台としての人権・同和教育、特別支援教育、キャリア教育

4つの重点の実現に当たっては、人権・同和教育、特別支援教育、キャリア教育の視点を取組の土台にすることで、各重点に係る具体的な施策の展開が一貫性と関連性をもったものとなるように努め、具体的には、以下のような考え方を基本としています。

### 人権・同和教育

自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることが態度や行動にまで現れるようにすることを目標とし、人権に関する知的理解と人権感覚の高揚を関連させながら、人権が尊重される「学習活動づくり」と「人間関係づくり」、「環境づくり」とが一体となり、自分自身が大切にされていることを実感できる取組を目指します。

### 特別支援教育

障害の状態や程度に応じて、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導、通常の学級といった連続性のある「多様な学びの場」を整備し、それぞれの場において児童生徒が充実した時間を過ごしつつ「生きる力」を身に付けることのできる教育の充実を図ります。

### キャリア教育

特別活動の学級活動を中核としながら、総合的な学習の時間や学校行事、各教科等の指導など教育課程全体を通じて必要な資質・能力の育成を図っていきます。

また、高等学校においても小・中学校におけるキャリア教育の成果を受け継ぎながら、小・中学校と同じく学校の教育活動全体を通じて行っていきます。

## 施策の体系

### 重点1：学びをつなぐ授業【主体的・対話的で深い学び】

#### 〈施策〉

#### 〈施策の評価指標〉

(1) 「くるめ授業スタンダード」を活用した授業改善

全国学力・学習状況調査(小6、中3)において全国平均正答率を上回る。県学力調査(小5、中1、中2)と全国・学力学習状況調査において県・全国を100とした場合の得点率が増加する。

(2) 個に応じた教育活動の充実

「国語の授業の内容がよくわかる」「算数・数学の授業の内容がよくわかる」と答える児童生徒の割合が増加する。

(3) 教育ICT活用・情報教育の推進

「コンピュータなどのICTを活用した授業を週1回以上やっている」と答える児童生徒の割合が増加する。

(4) 外国語教育の充実

「CEFR A1」相当以上の力を有する生徒の割合が全国平均以上になる。

### 重点2：楽しい学校【安全・安心な学び舎】

#### 〈施策〉

#### 〈施策の評価指標〉

(1) 不登校対応の徹底

不登校の出現率が全国平均以下になる。

(2) いじめ問題対応の徹底

いじめ認知件数が全国平均以上になる。

(3) 学校安全への支援

日本スポーツ振興センター災害給付対象けが件数が減少する。

(4) 仲間づくりの視点を大切に活動の充実

「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある」と答える児童生徒の割合が増加する。

### 重点3：笑顔の先生【教師力の向上と子どもと向き合う時間の確保】

#### 〈施策〉

#### 〈施策の評価指標〉

(1) 教師力向上への支援

「先生は、よさを認めてくれる」と答える児童生徒の割合が増加する。

(2) 業務改善への支援

「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている」と答える児童生徒の割合が増加する。

### 重点4：協働する学校・家庭・地域【コミュニティ・スクールの推進】

#### 〈施策〉

#### 〈施策の評価指標〉

(1) 学習習慣定着への支援

「家庭等で1時間以上学習する」「家で計画を立てて勉強している」と答える児童生徒の割合が増加する。

(2) 地域学校協議会提言の実働化への支援

地域学校協議会提言の達成率が増加する。

(3) 中学校区人権のまちづくりへの支援

「自分にはよいところがあると思う」「人が困っているときは進んで助けます」と答える児童生徒の割合が増加する。